



国土地理院について

沿革「国土地理院のあゆみ」

民部省・内務省

- 1869●民部官に庶務司戸籍地図掛を設置（明治2年）
地誌の編さんと地理資料の収集にあたる
- 1875●内務省は大三角測量事業を開始
- 1884●内務省の大三角測量事業を参謀本部に統合（明治17年）

兵部省・陸軍省・参謀本部

- 1871●兵部省陸軍参謀局に間諜隊を設置（明治4年）
地理調査と地図編集を担当
- 1883●一等三角測量、一等水準測量を開始
- 1884●参謀本部に測量局を設置（明治17年）
- 1888●測量局が陸軍参謀本部陸地測量部を経て、
翌年に参謀本部陸地測量部となる。
- 1891●東京三宅坂参謀本部内に水準原点を設置
- 1892●東京麻布に経緯度原点を設置（東京天文台子午環中心）
- 1908●2万5千分1地形図の作成を開始
- 1915●一等三角測量が完了（明治成果）
- 1924●全国5万分1地形図がほぼ完了（陸測の5万）

内務省・建設省・国土交通省

- 1945●内務省の附属機関として地理調査所が発足（昭和20年）
- 1948●建設省発足、地理調査所は同省の附属機関となる
- 1949●測量法公布
- 1953●基本測量長期計画を告示（昭和28～37年度まで）
- 1956●南極観測事業に参加
- 1960●地理調査所を国土地理院に名称変更（昭和35年）
- 1969●地震予知連絡会を設置
- 1974●精密測地網測量を開始
- 1979●東京目黒から筑波へ移転
- 1981●VLBI装置を導入
- 1983●2万5千分1地形図全国整備が完了（一部離島を除く）
- 1984●建設省の特別の機関となる
- 1994●全国GPS連続観測施設の運用を開始
- 1996●「地図と測量の科学館」オープン
測地観測センターが発足
- 1998●地球地図の整備を開始
地理地殻活動研究センターが発足
- 2001●国土交通省発足、同省の特別の機関となる
災害対策基本法に基づく指定行政機関となる
測量法改正（世界測地系に移行）
- 2002●電子基準点網の全国整備が完了
- 2003●電子国土Webシステムの運用を開始
「数値地図25000（空間データ基盤）」の全国整備が完了
- 2007●測量法改正（測量成果の活用促進）
地理空間情報活用推進基本法公布
- 2008●地理空間情報活用推進基本計画閣議決定
- 2011●東北地方太平洋沖地震の影響で日本経緯度原点及び
日本水準原点の原点数値を改正
- 2014●「電子地形図25000」及び「2万5千分1地形図」の領土全域
の整備が完了
基本測量に関する長期計画を告示（平成26～35年度まで）



一等三角測量風景



陸地測量部時代



日本水準原点



地理調査所時代



目黒庁舎時代

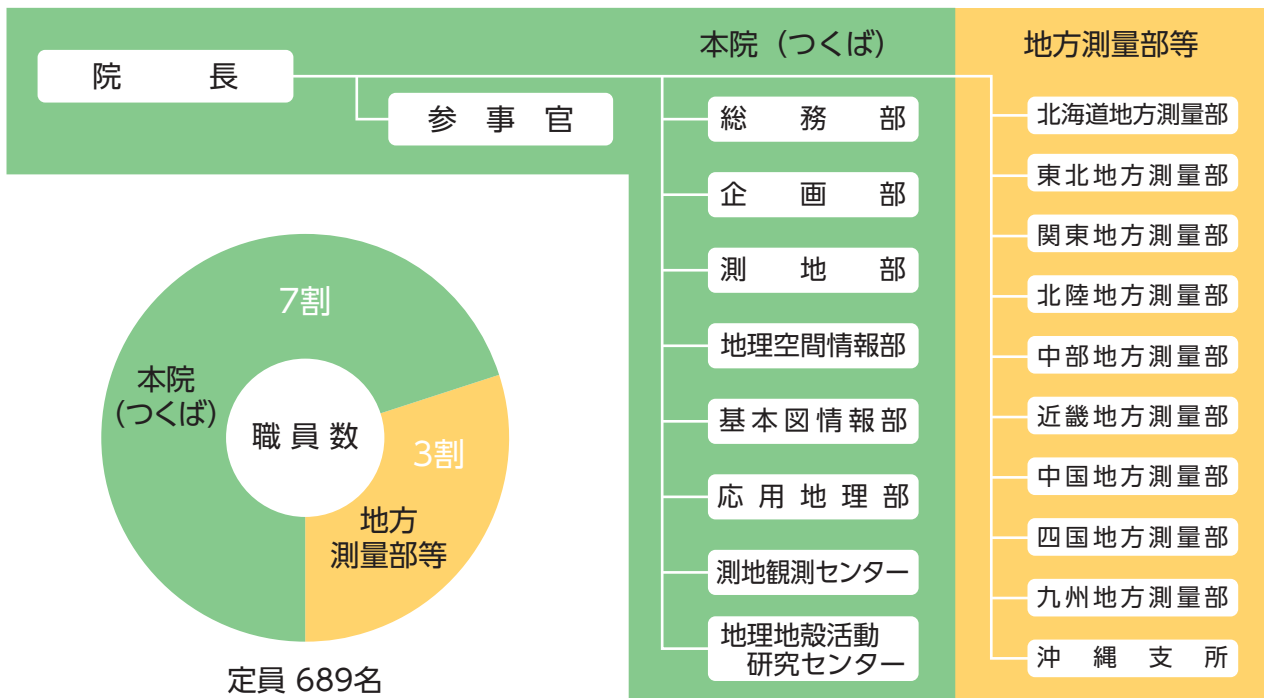


地図と測量の科学館

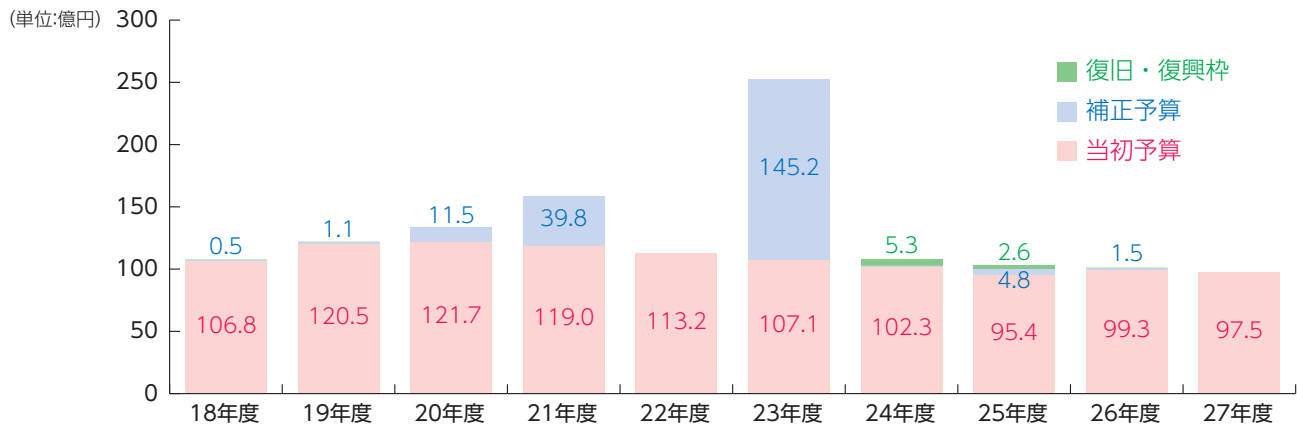


現在の国土地理院外観

組織及び職員構成



予算



事項	前年度 予算額 A	27年度 予算額 B	対前年度		
			比較増減 B - A	倍率 B / A	
当初予算	(組織) 国土地理院 計上分	8,785	8,752	△ 32	0.996
	国土地理院の運営に必要な経費	5,486	5,465	△ 21	0.996
	国土地理院施設整備に必要な経費	124	187	62	1.5
	災害時における情報伝達手段等の整備に必要な経費	539	519	△ 20	0.962
	地理空間情報の整備・活用等の推進に必要な経費	2,531	2,485	△ 45	0.982
	地理地殻活動の研究に必要な経費	105	97	△ 8	0.92
	(組織) 国土交通省 計上分	1,149	995	△ 154	0.866
	地理空間情報の整備・活用の推進に必要な経費	1,149	995	△ 154	0.866
当初予算 総計	9,934	9,748	△ 186	0.981	
補正予算	(組織) 国土地理院 計上分	150			
	地理空間情報の整備・活用等の推進に必要な経費	150			
補正予算 総計	150				

※端数処理のため計数が合わない場合がある。

(単位: 百万円)